

令和6年3月13日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

文教福祉常任委員会委員長 福田長弘

所管事務調査結果報告書

令和4年第3回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 調査期間 令和4年6月16日から令和6年3月13日まで
- 2 構成委員 福田長弘、高木洋一、相馬正典、田島信二、中山五男
- 3 調査事項
 - (1) こどもの教育に関する事項
 - (2) 福祉・医療に関する事項
 - (3) 歴史・文化・スポーツに関する事項
 - (4) その他所管に属する事項

4 調査結果

(1) 認定こども園の視察

令和4年10月12日及び14日、市の認定こども園整備の参考にするため、那須烏山市、さくら市及び高根沢町の幼稚園、保育園等の保育施設計4か所の視察を行った。

なすからこども園（認定こども園）は現在整備中であり、令和6年9月に一部開園、令和7年4月に全面開園予定とのことである。子育て支援の拠点として、通園する園児と保護者に喜ばれる施設となるよう期待したい。

(2) 須賀川市立義務教育学校稲田学園視察

令和4年11月7日、福島県須賀川市の標記学校を視察した。小学校・中学校という枠組みではなく、小中一貫教育により9年間を見通したカリキュラムが生まれ、質の高い教育が行われていた。本市のこれからの学校のあり方を検討していく上で大変参考になった。

(3) 文教福祉複合施設「モトガッコ」視察

令和4年11月8日、福島県石川町にある標記施設は、3階建ての小学校の廃校舎を2階へ減築リノベーションし、図書館、公民館、屋内遊び場、児童クラブ等の機能をもたせた複合施設であり、再整備され公園化した校庭では、子どもが遊ぶ声が響いていた。多く

の町民が運営段階から参画し、住民主導の「まちなか再生の拠点」となっていた。

(4) 市内小学校の視察

令和5年5月26日、江川小学校にて、GIGAスクール構想にて各小中学校に一斉配備されたタブレット端末の活用状況、ICTを活用した授業の取り組みを視察した。実際の授業を教室で見学し、活発な授業風景と児童のICT機器への適応力に驚いたところである。教職員からは「教師がICT機器の操作を覚えるスピードよりも、子どもたちが操作を覚えるスピードのほうがはるかに速い」との話があった。

子供たちは適切な学習環境を提供すれば、興味関心を示し、驚くべき速さで順応し、成長していく。今後も限られた財源の中で最大の効果を生むようなICT教育環境の整備を望むものである。

(5) 教育委員会の傍聴及び教育委員との意見交換会の開催

同日、文教福祉常任委員会として初めての取り組みである「教育委員会の傍聴」及び「教育委員との意見交換会」を開催した。意見交換では、現状の様々な教育課題についての話題があがり、新型コロナウイルス感染症への対応や部活動の地域移行の考え方など、教育委員会及び各学校の取り組みを知ることができた。今後も本市の児童生徒にとってより良い教育環境の構築に向け、定期的に意見交換会を実施していきたい。

(6) ならはスカイアリーナ視察

令和5年10月10日、福島県楡葉町が令和元年に整備した標記施設を視察した。体育館、温水プール、フィットネスジム、ランニングコースを備えた先進的な体育施設で、地域のバスケットボールチームとも連携し、スポーツを通じた地域振興体制を確立していた。

(7) 高等学校への給食提供事業

令和5年10月11日、茨城県大子町の給食センターを訪問し、地元高校への給食提供事業について職員から話を伺った。当市にも取り入れることができれば烏山高校の魅力アップにも繋がるため、次期委員会でも引き続き調査研究されることを希望したい。

(8) 市内ジオパークの視察

令和5年12月15日、生涯学習課の事務員をガイドに招き、市内ジオパークの現地視察を行った。大和久古墳群、小志鳥横穴墓群、各所の採石跡など数か所を視察し、ガイドから貴重な地質や特徴的な地形の説明を受け、大昔から現在まで歴史は繋がっていることを実感し大変興味深かった。

ジオパークの認定には、何よりも「那須烏山をジオパークに」という地域住民の盛り上がり非常に大切とのことである。ジオパークの取り組みは地域振興だけではなく、その他市内の観光地・地域資源との連携による相乗効果も見込める。市民への周知を継続するとともに、全庁的な取り組みの推進を図りたい。